

令和5年度第1回日進市わたしのまちのしあわせづくり委員会

議事録

日 時 令和5年7月28日(金) 午後2時～4時

場 所 日進市役所 第2・第3会議室

出席者 <委員>佐野治(委員長)、長谷川純、小池由成、神野建三、蛭牟田弘樹、
(敬称略) 秋田有加里、成田ゆき江、松元響香、井口紘一、寺田裕美
<事務局>市：川本賀津三(健康福祉部部長)、祖父江直文(地域福祉部次
長兼地域福祉課長)、野村圭一(同補佐)、新海洋人(同係長)、
櫻木順子(同係長)、小倉懸自(同主査)、中村聡美(同主事)
社協：伊東幸仁(事務局長)、牧智彦(地域福祉課長)、
天野典幸(包括支援課長)、福田有輝(地域福祉課係長)

欠席者 谷口功、山田幹雄、興梶精視、数井美津子
(敬称略)

傍聴の可否 可

傍聴の有無 2名

次 第 1 あいさつ

2 議事

(1) にっしん幸せまちづくりプラン 令和4年度事業実施報告及
び令和5年度事業計画について

① にっしん幸せまちづくりプラン

② 自殺対策計画

③ 成年後見制度利用促進計画

(2) 次期にっしん幸せまちづくりプランについて

3 その他

事務局 定刻になりましたので、令和5年度第1回わたしのまちのしあわせづくり委員会を開催いたします。

本日は、4名の委員がご都合により欠席のため、委員14名のうち、10名の方が出席されております。会の成立には半数以上の出席が必要となっております、本日の委員会は成立します。

でははじめに、委員長よりごあいさつをお願いします。

(委員長あいさつ)

ありがとうございます。今回、1名の委員に変更があります。教育機関関係者のうち東小学校長の阿部委員から北小学校長の蛭牟田委員に変更となりましたのでご報告いたします。

それでは議事に入る前に、会議資料の確認をお願いします。

(資料確認)

それでは、これからの進行について委員長をお願いします。

委員長 本日2名の方が、傍聴を希望しておられます。日進市市民参加及び市民自治活動条例施行規則第16条の規定に基づき、会議を公開とするのか非公開とするのかを決定します。本日の議題は次第のとおりです。審議の段階で個人のプライバシー等明らかに公開するのに適当でない事項の審議はありません。会議の公開についてご意見がなければ、第10条及び第11条の規定に基づき入室を決定したいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、傍聴者をお通しします。

それでは議事(1)にしん幸せまちづくりプラン 令和4年度事業実施報告及び令和5年度事業計画について、事務局から説明をお願いします。

事務局 (資料1、2、3-1、3-2について説明)

委員 現状の把握が少ないと感じます。例えばまちの守り人や空き家バンクの現状はこうなので、こういう支援活動をしているといったことを把握しなければならないと思います。

委員 去年の12月に民生委員の一斉改選があり、約3分の1の民生委員が新しく就任されました。ところが、改選当時から欠員になっている地区がいくつかあります。当初5名の欠員でしたが、現在は4名が欠員状態です。役員の中には、民生委員は区長推薦ということになっているので、あくまでも区長が責任を持って推薦してもらわないと困るというご意見の方もお見えになりますが、私も以前区長をやっております、区長1人で4名の民生委員を探すのは非常に大変でした。4名探す

のに30人以上お声がけしましたが、その中で返事をいただいたのは3名だけだったので、結局自分が民生委員になったのが実情です。実際に担当するエリアと出身エリアが異なることもあり、知らないことも多く、周囲の方から色々な情報を教えてもらいながら活動しています。人材やどんな人が住んでいるのかを把握し、公民館等に入出入りする方のみならず地域に関心のない方と面識を持つのは難しいので、人探しは非常に苦労します。資料1の4ページに記載されているような人材バンクが整備されていけば、市から人を紹介していただくことが実現できるのではないかと思います。実際の人材バンクは地域のリーダーになるような人とはイメージのずれがあるかもしれませんが、改めて教えていただきたいです。

委員長 民生委員は全国的な課題でもありますので、ぜひ確保策をよろしくをお願いします。

委員 各地域でまちづくり協議会や移動支援といった地域での組織作りが進んでいるとご説明がありました。組織作りを進めるにあたって、CSWに頑張ってもらっており、行政と社協と協力して取り組んでいるところです。しかし、ここ数年、私の期待するような地域の助け合いの組織作りが進んでいないように感じます。場合によっては世話人をされていたような方が息切れするような事情も懸念されます。各地域の老人クラブ活動や女性の会などの世話人やリーダーの方との情報交換や連携は比較的上手くいっていますが、世代間を超えた連携が進まず、世代間による意識の分離が見受けられます。そういった現状を改善していかなければなりません。

また、高齢者にとって、ほっとカフェやぷらっとホーム、健康体操の場といったつどいの場は非常に効果があると思います。ただ、月に2、3回や多くても週に1回など時間が限られているのが現状です。市内の福祉会館に行けば、地域の人と顔を合わせて話や食事ができるようになれば良いなと思います。

委員 現在小学校4年生を対象に福祉実践教室を実施いただいておりますが、今後も学年は限られてしまいますが、継続して欲しいと思います。

資料1の2ページ目のまちの守り人養成人数に小学生は含まれているのか教えてください。

資料2の2ページ目のいじめ相談SOSですが、子どもたちはすごく小さなことでも書いて送ってくれている状況です。学校現場にとってはすごく有難いことで、情報が入るとすぐ生徒指導や担任から本人への聞き取りができています。子どもからの報告件数が多いことは、子どもたちは些細なことも見ていて報告してくれると捉えることができますし、いじめ相談SOSは早期発見に繋がっていると感じます。

委員 学生からゼミの先生と合わなくて授業に行けていないので、このままだと単位が

取れないから生きていたくないというような話が上がったときに、色々なセクションの人が集まってその学生をどうやって支えるか話し合います。1人の人の命は何ものにも代え難い重いものだと思っています。自殺に関して、そういう人たちを支えられた事例があるようでしたら教えてください。

今年度の避難所開設運営訓練の実施場所を教えてください。何か協力できればと思います。

大学と社協は変わらず連携して活動をしています。北中学校の先生から漢字が読めない外国籍の児童の教科書にルビを振ってほしいとご連絡いただき、夏休み中に3人の学生が2学期の授業に間に合うよう一生懸命ルビ振りに取り組んでいます。情報をいただければ、学生が携われることもありますので、よろしくお願ひします。

委員 日進市の人口が増えていく中で、人と人の繋がりが非常に希薄になっている現状があると思いますので、色々な企画をしていただくことで人と人が繋がり合っ助けてあげることができると思います。

日東保育園と日東子育て支援センターを運営しています。日進市は子どもがたくさん居ますが、コロナ禍の3年で子どもたちの生活が室内に限られてしまったことで、かなり体力が落ちている印象です。保護者も室内で子どもを育てる大変さや、どこにも出かけられず子どもと2人きりで1日いる大変さを感じられているので、保育園でできる限り預かり、子育て支援センターで多くの事業を開催できるようにやってきました。祖父母との関係性があるところは、父母の行き届かない部分をフォローしていただけますが、関係性のない家庭は、地域の繋がりや支援センターの活動でフォローしていくことになると思います。

そして心配な事は、保育園の入所の理由が母の心の問題という方が非常に増えていることです。子育てが楽しくて笑うこともあると思いますが、心を閉ざしてしまい、子どもが呼びかけても、母親に笑顔のない状況が増えているように感じます。たくましい子供に育てるためには、母親の笑顔や信頼関係がとても大事なので、市内の福祉会館で色々な支援をしていただいています。たくましい人になれるように私も一生懸命活動していきたいと思っています。

また、保育園の子どもたちは無邪気で楽しい保育園生活を送っていますが、それだけでなく、社会の資源として色々な方と関わり、お互いに刺激し合っ育つことが大事だと思います。秋に日進中学校の家庭科の授業の一環で、受験を前にしてストレスいっぱいの中学3年生の子たちと園児が数時間園で過ごすというものがあります。突っ張って先生の言うことなんか聞かない子が、腰をかがめて子どもたちに優しく接している姿を見ることが出来る活動です。コロナが少し落ち着いてそういう活動も復活することができました。このように子どもという資源を社会の中で大いに活用させていただき、思春期の子たちの優しさを引き出しながら、地域に開かれた保育園や支援センターの活動を行っていききたいと思っています。

また、日東保育園は福祉避難所に指定されており、色々な手配はしていますが、避難所の訓練を実施したことがありません。具体的にどのような方法で福祉避難所を開設するのか把握できていないので、教えていただきたいです。

委員 私の周りに民生委員児童委員という言葉を知らない方も多く、地域福祉にあまり関心のない方がたくさんいることを感じます。民生委員の存在を知っている方でも、自分の地区でどなたが民生委員なのかは知らない方もいます。民生委員は地域の中で身近な存在として見守ってくださっていたり、民生委員がきっかけとなり支援に繋がることもあるのに、知らない方がいるのはすごくもったいないと感じます。

委員 次期計画に令和3年度に実施したアンケートの結果を反映していくと思いますが、市や社協はアンケート結果を分析されたのか教えてください。
それから避難所について、市のホームページを見ると、各地区に避難所の指定があります。今指定されている避難所は、各地区の都合と擦り合わせしたことがあるかどうか教えてください。
最後につどいの場として市内に7箇所ふらっとホームがありますが、NPO法人が運営しているのは何箇所か教えてください。令和4年度に7ヶ所開設したという説明でしたが、合っていますでしょうか。

委員 にぎわい交流館に係る部分について申し上げます。団体皆さんのそれぞれの取り組みとにぎわい交流館のやっていることがきちんとリンクしていたのか、もっと良いコーディネートができたのではないかと色々な報告を聞いて感じました。にぎわい交流館では、色んな方から様々な相談をお受けすることがあります。福祉に関する話だけでなく、ボランティアに興味がある方や家庭の事情を相談される方から話を聞くこともあります。もっと勉強して相談先を提案したり、直接相談先に繋ぐことができるとより良いまちになっていくのではないかと思います。
社協とは月に1度定例会を行っていて、それぞれの活動を報告し合うなど、協力体制が取れています。そういった繋がりもあって、今年のわいフェスの実行委員になっていただき、活躍してくれました。社協と繋がりができたことによって、にぎわい交流館が把握していない団体に情報が届きやすくなったので、連携の大切さを実感しています。

事務局 まとめて回答いたします。まず現状認識の意見について、今回の資料では計画の進捗部分の報告のみになっていますが、元々は第2次地域福祉計画の計画書に現状認識や課題が書かれていて、その課題等に対する取り組み事項を計画書の本文に記載しています。資料1には、指標や取り組み状況のみ記載しているので、元々の状況が見えにくくなっていますが、計画書と見比べていただき、計画

書に記載されていることが実施されていないなど委員会の中でご指摘いただければと思います。

民生委員の推薦につきまして、区長の皆様はじめ地域の皆様の推薦にご協力いただきまして誠にありがとうございました。なかなか民生委員が決まらないという話はうかがっております。資料1の4ページ目の人材情報はどちらかというとボランティア活動をしたい方やNPO活動をしたい方の情報だと把握しておりましたけれども、地域で活動したいという方もいらっしゃるかもしれませんので、情報を集めながら、区長からの相談に寄り添えればと思います。

自殺の相談について、市役所への相談内容に自殺という言葉が出てくることはあまりありません。市としてゲートキーパー養成講座を職員向けにやっている意味は、例えば仕事がなくなってしまったとか家庭内でトラブルがあったなど、何か困りごとが生じた場合に適切な対応することで、考えが狭まって自殺しかないと思いつめてしまうことを防ぐことだと思っています。まずはそれぞれの部署でしっかりと丁寧に対応し、困り事から抜け出せなくなって自殺しかないという考えに陥らないようにするために、繰り返しゲートキーパー養成講座を実施しています。ただ、市役所の職員では、自殺しかないと思いつめてしまっている方の対応は難しいこともありますので、そういう場合は専門家である精神科の先生やメンタルヘルスの先生に繋いで、カウンセリングなどを受けていただくのが良いのかなと思います。

避難所開設訓練の実施場所ですが、今年度は南小学校と赤池小学校と聞いております。

それから、福祉避難所の開設について、通常の避難所開設訓練は毎年実施していますが、福祉避難所の開設訓練や福祉避難所に来る方を想定した訓練は、市単独では実施できていません。コロナが始まる前には、瀬戸保健所と協力して、難病患者本人に協力いただき、そういった方が被災したときにどういう避難ができるかを訓練しました。そういった訓練等を繰り返しながら、いざというときのために市も備えていくことになるかと思っています。

それから、令和3年度に実施したアンケート結果の分析について、次期計画の策定に向けてアンケートを実施する予定ですが、前段階としてこちらのアンケート結果の分析をして、足りない部分のアンケートを追加でとるという形を想定しています。詳細についてはまた改めて分析をしていきたいと思っております。

避難所の指定に際して、各地域の都合と擦り合わせかというご質問の主旨を詳しく教えていただきたいです。

委員 具体的に申し上げますと、五色園の第2集会所は避難所に指定されていますが、地区では五色園の防災対策本部を立ち上げる想定をしています。そうすると避難所としての用をなさないと思われます。その辺の擦り合わせたのかお聞きしたいです。

事務局 防災担当が不在のため、避難所をどういう経過で指定しているのかとか、避難所として指定する前に地域の方と擦り合わせを行っていたか把握できておりませんので、確認しておきます。

現在市内に7箇所あるぷらっとホームのうちNPO法人が運営されているのは3箇所になります。東山と岩崎と赤池が該当します。令和4年度中に7箇所追加されたのではなく、令和4年度は7箇所運営がされているという趣旨で記載したところになります。

事務局 社会福祉協議会からお答えいたします。まず、まちの守り人の現状把握を行っているかという質問がありましたが、まちの守り人養成講座については、年齢層を問わず1人でも多くの方に福祉の視点を日常生活に取り入れてもらいたいと思って実施しております。現在は学校を中心に守り人養成講座を受けていただいておりますが、多くの方に新しく学んでいただきたいので、周知に力を入れていき、老人会や自治会の会合など地域の方々の元へ出張して話を聞いていただきたいと思っております。つどいの場が日進市内に50箇所近くあるので、そういった地域の方々が多く集まる場で、守り人の話を聞いてもらえるような仕掛けをしていきたいと考えております。

令和4年度の守り人の養成人数は、ほとんど小学校中学校高校の児童生徒になります。内訳は、日生東山の老人会が15名、中学一年生が50名、高校1年生から3年生までの有志で集まった方が16名で残りは市内6校の小学校4年生になります。コロナが少し落ち着いて、地域の会合やつどいの場が少しずつ再開されてきますので、そういった場で守り人養成講座を聞いていただけるように努力をしていきたいと思っております。

あと、学校関係の部分について、ボランティアセンターから大学にルビ振りボランティアの依頼をさせていただき、早速実行していただいております。社会福祉協議会と福祉実践教室以外の部分での学校との繋がりや学校に配置されているSSWとの繋がりはありません。子どもたちはどういうことに支援を必要としているか、福祉の観点から支援できることはないか考えながら、SSWと関わりを今後持っていったらと思っております。

委員長 次に議事（2）次期につしん幸せまちづくりプランについて、事務局から説明をお願いします。

事務局 （資料4について説明）

委員 民生委員の活動は、基本的に個人活動ですが、地域包括支援センターという組織がなかったら活動はできていないと思っております。情報が集約されており、自分の判断の

基準になる組織体だと思っています。地域包括支援センターの充実が、民生委員活動を支えていますので、センターの充実を図っていただけるような施策を考えていただくと助かります。

委員 資料4の3ページ目の次期プラン策定のための意向調査に、令和3年度実施アンケートの結果を踏まえてと記載がありますが、どのようにアンケートの結果を扱う予定なのでしょう。具体的に申し上げますとプロポーザル方式で業者を選定するにあたって、この3年度のアンケート結果は全面的に業者に提示するということでしょうか。

事務局 令和3年度に皆さんにお答えいただいたものになりますので、アンケートの結果は業者にも活用してもらった上で、追加でアンケートを取る必要があるのか今後決めていくという趣旨で書かせていただきました。

委員 市では、令和3年度のアンケートの結果を踏まえて、意見交換はされていないということでしょうか。

事務局 アンケート結果については、会議の中でも報告させていただきました。具体的な課題や今後については、今の時点で何かお示しするものがあるわけではありませんけれども、次期計画の参考にさせていただきたいと思っております。

委員 令和3年度のアンケートの結果の中で、親子向け学習活動を実施しているかという問いに対して、ほとんどの団体が実施していないという回答をしています。子育て支援活動に関しては、どこの区も実施していないという回答です。学校支援活動を実施していると回答した家庭教育推進委員会の割合はとても低いです。このような結果が出ており、改善した方が良いと思っておりますが、どう反映させたら良いのでしょうか。

事務局 手元にアンケートの結果報告書がないのでお聞きしますが、どの団体が回答された間になりますでしょうか。

委員 区、自治会、老人クラブ、子ども会、自主防災組織、自主防犯団体、家庭教育推進委員会、社協登録ボランティア、にぎわい登録団体の長が回答しています。このアンケートは非常に良い結果が出ているので、反映させないのはもったいないと思います。

事務局 反映させないとは申し上げておりません。この結果を次期計画ないし活動内容に反映させていきたいと考えております。おっしゃる通り、アンケートを回答して

いただくときに、設問や言葉に対してどういうイメージを持たれているかによって、回答のずれが生じてしまったところがあると思います。例えば、子ども会の活動は、全て子育てに関する活動に該当するかと思いますが、回答者がそのように認識されるかで回答のずれが生じてしまったと考えられます。もう少し具体例を示した上で聞いた方がよかったのかもしれない。

委員 地域福祉を考える上で一番ベースになるべき横との繋がりが非常に薄くなってきています。自治会の加入率も下がっており、五色園の加入率は平成19年時点では98%でしたが、令和5年4月1日時点では、80%に下がってしまいました。子ども会に加入する世帯も同様に減っています。これをそのままにしまうと更に下がってしまうので、最低でも現状を維持しなくてはいけないと思います。次期計画では、そういった意思を反映させるような施策を考えていただきたいです。

委員長 例えば、子ども会に加入すると役員が回ってきますが、役が負担になってしまいます。役を担当しないということであれば、子ども会も人が増えて盛り上がるかもしれません。役が負担になることで、子どもたちが参加できなくなるのは残念なので、何か解決策がないものかと常々感じるところです。

委員 様々な施策に取り組んでいただいておりますが、現状、目標の数値化が明確ではないと感じます。例えば子ども110番の家の数や守り人養成講座の受講者数が目標として掲げられていますが、そのベースになる不審者に関する相談が何件あるといった数値が明確ではありません。空き家バンクに1件登録されたと記載がありますが、1件で良いのかどうかわかりません。次期計画のアンケートでは、具体的な目標数値ではなく、実情はこうなので将来はこうなると良いというような見方ができれば良いと思います。守り人養成講座は、先ほど福祉の視点を持つ人を増やすために受講者数を増やすことが目標という説明でしたが、それぞれにおいて数値で現状を把握しながら、目標数値を設けていただければと思います。

委員 現在の地域福祉計画の重点事業2・3で認知症について書かれています。周りにも認知症の疑いのある方が増え、見守りだけでなく、認知症の方が最後まで在宅で安心して暮らせることが必要だと思います。最後まで安心して地域で過ごせるような地域作りや意識作りを次期計画で進めていただきたいです。

委員長 次期計画は、社会福祉法が改正された後の計画になっており、高齢者・障害者・児童の3つが共通事項になります。今までどの計画も高齢者・障害者に偏っていた部分がありました。認知症になっても安心できるまちのように当事者が参加できるまちづくりを進めていく中で、児童の分野は弱いように感じます。SSWが

配置されたので、CSWと連携してもらえると良いと思います。不登校や発達
は、保育園や幼稚園の頃が影響してきます。小学校や中学校を卒業してしまうと
子どもがどうなったか分からなくなってしまいますが、CSWが関わっていれば
卒業後も連動できていきます。CSWとSSWが連動することで、児童が把握で
き、児童の把握が保護者の把握にも繋がります。高齢者と児童の関係を強めてい
くことはとても良いことなので、次期計画に反映してください。

社協からまちづくり協議会の資料をもらいましたが、素晴らしいと思いました。
ぜひ19区に広げてもらえれば、他市町に誇れる活動内容になっていくと思いま
す。高齢者や障害に関しては今まで以上に力を入れてもらい、さらに児童に関
することを進めていただきたいです。まちづくり協議会がしっかり立ち上がって
くることが、重層の基本にもなるので、ぜひそこは進めていただきながら、喫緊
にCSWとSSWとSCが連携してもらいケースを共有してほしいです。

保育園幼稚園の頃から関わってもらうと早期発見になりますし、義務教育にう
まく繋いでいけると小中学校の先生の支援もしやすくなっていきます。精神疾患
は14歳で半数登場すると言われていて、18歳で8割になります。中学生のとき
に発症するということは、幼少期から兆候が出ていると考えられます。そういう
子どもたちと関わりをもたないまま子どもが成長していくと、最終的に生活保護
受給世帯になってしまうケースがあります。重層では、幼少期から繋がってい
き、相談支援をしつつ、参加支援・地域づくりを一体的に進めていくことになり
ますし、中高年の方に対する波及効果もすごく大きいので、ぜひ子どもに関する
支援体制を充実していければ良いと思います。地域支援事業や子ども子育て支援
を一体的に進めていくための予算も考えられていますので、発展していけると思
います。

委員 登校拒否やひきこもりに加えて、ヤングケアラーも含めていければ、若者の支援
に繋がると思います。

委員長 さらに加えると、子どもが何らかの課題を持っている場合は、保護者も課題を持
っている場合が多いので、子どもへの支援のみならずペアレント支援も考えてほ
しいです。保護者に支援が届くことは、現在の課題にマッチしてくるのではない
かと思います。次期計画も現在のニーズや課題に合わせて取り組んでいけたらと
思います。

時間になりましたので、議事はこれで終了とさせていただきます。

それでは、進行を事務局に渡します。

事務局 それぞれの立場から貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。
そういったご意見を認識しながら、今後も進めて参りたいと思いますので、よろし
くお願いいたします。

次回の委員会は11月か12月頃の開催予定です。開催日の1か月前には委員の皆様にご連絡いたしますのでよろしくお願いいたします。

その他、委員の方から何か報告や周知事項等がありますでしょうか。

(報告なし)

これで、令和5年度第1回日進市わたしのまちのしあわせづくり委員会は終了します。

本日は、ありがとうございました。

(午後4時閉会)